

普及活動検討会実施報告書

大河原農業改良普及センター

実施月日：令和8年1月29日

実施場所：大河原合同庁舎 大会議室

1 検討内容

No	検討項目
1	令和7年度プロジェクト課題の活動成果について (1)課題 No. 2 「仙南たまねぎの環境に配慮した栽培方法による生産拡大」 (2)課題 No. 3 「地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践」
2	令和8年度普及指導計画の概要について
3	総合検討

2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロジェクト課題 No. 2 「仙南たまねぎの環境に配慮した栽培方法による生産拡大」	4.6	<ul style="list-style-type: none">環境保全と生産拡大を両立させる取組として有効性、持続性が高く地域農業の将来に合致した取組と評価する。リビングマルチの効果を多くの生産者に伝え、麦資材の購入と播種労力が追加されることに対する理解が課題と考える。ほ場整備後の高収益作物として導入しやすい栽培体系を望む。R8年度の新規課題で収量の安定、収益向上を期待する。	<ul style="list-style-type: none">グリーンな栽培体系の技術普及に向けては、動画やマニュアルを活用して普及拡大を図っていきます。また、令和8年度新規プロジェクト課題で、直播栽培の普及等引き続き支援を行っていく予定です。
プロジェクト課題 No. 3 「地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践」	4.2	<ul style="list-style-type: none">課題の多い地域支援活動に敬意を表する。支援により将来構想を議論できたことは、地域が変わるきっかけになったことと思う。引き続き、地域計画の見直し等に対する支援と次世代担い手への支援をお願いしたい。地理的に難しい地域での取組や次世代担い手の経営改善支援など評価する。ほ場条件の改善に向けてほ場整備事業への取組支援を期待する。	<ul style="list-style-type: none">「農地の集積から集約」に向けて、町の地域計画見直しと連携した話合いの継続を支援していきます。次世代担い手の栽培技術や経営改善支援を行いながら、生産組合の法人化やほ場整備の必要性について啓発していきます。

令和8年度普及指導計画の概要について	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の課題や普及指導の方向性を的確に捉えており、活動方針が分かりやすく示されている。現場の実情を踏まえた内容となっており、普及指導方針として妥当性が高いものと評価する。 ・新技術や新たな課題の支援が隅々まで行き届くことは難しいが支援が地域の中で根付き広まることを期待する。 ・ほ場整備事業が進む中、高収益作物の作付が必須となっている。さつまいもの普及拡大に寄与する活動になるよう期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや普及ブログなどの広報等を通し、広く知っていただく機会を積極的に増やしていきます。 ・令和8年度は、プロジェクト課題の一つとして、高収益作物(たまねぎ・さつまいも)の省力的な安定生産技術の課題に取り組んでいくこととしており、RTKを活用した高精度の播種や定植指導等を行っていく予定です。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・市町や関係機関連携のもと伴走的な支援と指導をお願いしたい。 ・次世代の担い手確保が今後の課題だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も関係機関・団体との密接な連携のもと、地域農業の活性化に向けて積極的に普及指導活動を推進していきます。 ・農業の持続的な発展に向けて、新規就農者、新規参入者及び定年帰農者など、新たな担い手の確保・育成と地域農業を支える女性の活躍に向けた取組を支援していきます。